HISTOFINE

*2010年4月 改訂
2005年6月 作成

研究用試薬

ヒストファイン

封入剤

水溶性永久(長期)封入剤

包装： 30 mL　　Code：415131

製造販売元
株式会社ニチレイバイオサイエンス
〒104-8402
東京都中央区築地６－１９－２０
TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

1. 内容
封入剤・・・水溶性永久(長期)封入剤。
液状。
1 バイアル中に 30mL を含む。

2. 使用目的
免疫組織(細胞)化学染色したスライドの封入。
ペルオキシダーゼ染色で使用されるアミノエチルカルバゾール(AEC)や、アルカリフォスファターゼ染色で使用されるファーストレッド、BCIP/NBT を永久(長期)保存するための水溶性封入剤である。

3. 使用方法
注意：最初に使用する際、ボトルの先端部を 45° 角にカッターまたははさみで切って開封する。開封後は蒸発を防ぐため、キャップをすること。*
(1) 染色を終えたスライドを精製水で洗浄する。
(2) 切片の水を軽く切る。
(3) スライドが濡れている状態で水溶性永久(長期)封入剤(以下、封入剤) 1－2 滴を切片に滴下し、スライド上の水分と封入剤をよく馴染ませてから静かにカバーガラスをかける。
注意：①滴下した封入剤中に気泡が見られる場合、未使用のスライド等を用いて気泡を付着除去させてから、カバーガラスを静かにかける。
②カバーガラスをかける時に気泡が入った場合、組織を傷めないようにカバーガラスを静かに外し、新しいカバーを静かにかける。封入直後の封入剤は水中に放置する事によりすぐに溶解する。
(4) 余分な封入剤を取り除きそのまま静置(15－30 分間)後、検鏡可能となる。
注意：①常温で一晩放置すれば、硬化し、黄色から無色に変化する。
②完全に硬化させるには 2 週間程度かかる。完全に硬化したスライドは 3 週間程度、水中に放置することで除去することができる。
(5) 長期保存するには封入剤の硬化を確認後、カバーガラスの周辺部をマニキュア等で覆う。
注意：①切片の乾燥を防ぐためにカバーガラスの周辺部をマニキュア等で覆うことを推奨する。この操作により良好な状態のまま長期に渡ってスライド保存が可能となる。カバーガラスの周辺部をマニキュア等で覆わない場合、カバーガラスの周辺部より徐々に乾燥し、組織切片の周辺部にヒビが入ることがある。

4. 貯法
常温で保存。

■研究用としてのみ使用すること。